

大学のキャンパスで新たな広報活動

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、4月19日（水）、常葉大学静岡キャンパス水落校舎（静岡市）において、自衛隊の広報活動を実施した。

これは、自衛官募集相談員として活動を行っている同大学法学部長の細川壯平教授の全面的な協力により、今年度から月1回実施するもので、校舎内において自衛官採用制度に関するチラシ等を配布するとともに、自衛隊に関心のある学生に対して直接説明を行う。

同校舎には法学部と健康科学部があり、県内各地から約1000人の学生が通っている。今回は主に1・2年生を対象に、普段は学生やサラーイマン等をしながら計画的に訓練に参加する予備自衛官補制度のチラシを配ったほか、陸海空自衛隊の幹部を指す一般幹部候補生の試験日程等を折り込んだポケットティッシュを食堂前で配布した。

学生からは「制服姿の自衛官を初めて目にした。直接話を聞くことが出来て興味が出てきた」との声も聞かれ、自衛隊を知ってもらう有効な機会であった。

静岡地本は、今後も新たな自衛官志願者獲得に向け、自衛隊の仕事内容ややりがい等を伝えるPR活動を積極的に実施するとともに、最近の安全保障環境の厳しさを認識した上で国防に携わる重要性を説明していく。



静岡市自衛隊家族会総会で静岡基地司令が講話

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、4月23日（日）、静岡県護国神社直会殿（静岡市）で行われた「平成29年度静岡市自衛隊家族会総会」に参加した。

父兄会という今までの名称から「家族会」に変更して初めての総会であり、田辺静岡市長令夫人と静岡募集案内所長が来賓として招かれ、総会開催の祝辞を述べた。

総会後は、航空自衛隊静岡基地司令・小袋長武1等空佐による防衛講話が行われ、航空自衛隊の概要や任務の重要性を分かりやすくスライド等を使って説明するとともに、F-15戦闘機パイロットとしての経験談や戦闘機搭乗時に使用する装備品をユーモアを交えながら紹介した。静岡県内には航空自衛隊の基地が3つ所在していることもあり、参加者から戦闘機パイロットに対する高い関心を集めるとともに、多くの質問が寄せられた。

その後に行われた意見交換会には、静岡地本部長・根本博之1等陸佐も招かれ、会員と積極的な意見交換をしつつ、相互の協力体制の確認を行い親睦を深めた。

静岡地本は、今後も家族会との連携を積極的に図るとともに、昨今の厳しい隊員の募集業務の協力が得られるよう活動していく。

